



人と人のハートを大切にするハートフルグループ

令和元年5月15日発行

社会医療法人協和会 社会福祉法人大協会 連携広報誌



むつごろう

Vol.108
.....
春号

特集1

リハビリテーション科

P.3~8 次代を支えるハートフルグループの“リハビリ力”

特集2

新入職員紹介

P.9~13 新たな仲間を迎えました!

もくじ

● 理事長メッセージ 1・2

特集 3
..... 13

● 社会医療法人協和会ニュース

第2回加納総合病院・北大阪病院
地域医療連携の会

14

耐震改修工事が完了

15

健康献立・季節のレシピ
鯖をとり入れて健康になろう

16

医療安全管理室NO.6

16

第9回ハートフル学会開催

17

● 大協会便り

地域密着型特養
ハートフルふしお「紅葉館」新設オープン

17

● 連携医療機関紹介

医療法人朋詠会 たむらクリニック

18

● 各科診療医一覧表



ご自由にお持ち帰りください



新入職員を迎えて

社会医療法人協和会
理事長
加納総合病院院長

加納 繁照

療・介護施設サービスグループとして地域の皆様に評価されるよう全力で頑張つてまいりたいと思います。

平成31年度、令和元年度はグループ全体で62名の新卒者を迎えスタートしました。加納総合病院では、4月より整形外科に松山先生、和田先生のお二人、形成外科に奥野先生、内科には吉岡先生、救急センターには日本救急医学会専門医制度における専攻医として田尻先生がそれぞれ大学より着任されます。そして、大阪大学神経内科学教室より権先生が着任され、神経内科が常勤体制となります。引き続き、専門外来は、毎週火曜午後の循環器内科を大阪大学の坂田教授、土曜午前の神経内科を大阪大学の望月教授に診察していただきます。また、昨年度、加納総合病院と北大阪病院は耐震工事を完了させ、内外ともに万全を期しています。

この天六の地で開院してから、ハートフルグループは67年目を迎えます。光陰矢の如しとはよく言ったもので、昭和、平成と時代が移り変わる中で、我々グループも地域に密着して発展してまいりました。令和の時代においても、グループ一体となり、さらに邁進してまいります。我々ハートフルグループの理念は「地域に根ざした患者様・利用者様中心の医療と介護の実践、ハートフルコミュニケーションを合言葉に、救急から介護まで、総合保健医療福祉グループを目指します。そのためには職員一人一人が責任ある行動をとります。」であります。

まさしくこの言葉通りに、新入職の皆さんと共に、地域密着型医



令和時代の医療

社会医療法人 協和会 理事長 加納 繁照

平成の時代が終わり、いよいよ令和の時代が幕を開ける。ここで、改めて戦後からの医療の歴史を振り返りたいと思う。昭和の時代、荒廃した戦後の日本の医療を建て直すため、2大施策が講じられた。1つは、昭和25年の医療法改正、医療法人制度の採用である。民間でありながら、株主への余剰金の配当のためにお金儲けをしなければならない株式会社とは全く異なる性質を持ち、逆に余剰金の配当を禁止され、非営利かつ一定の公共性を持った医療のための新たな法人、すなわち医療法人制度の設立である。

もう1つは、昭和35年の国民皆保険制度の設立である。この2つの制度が両輪となって、いつでも、どこでも、だれでも、世界一の水準の医療を受けられる世の中が誕生した。この2大施策による結果として、病院の8割、診療所のほぼ全てが民間医療機関という、世界に類を見ない、日本独自の医療システムが構築された。民間活力を最大限に利用した、民間医療機関主体による日本の医療の復興と発展が成し遂げられたわけである。

戦後の昭和時代は右肩上がりに病院数は年々増加を遂げ、まさしく病院成長発展期であった。第一次医療法改正(昭和60年成立、61年施行)により、地域医療計画策定の制度の導入、病院病床数の総量規制等が始まったが、猶予期間中に「駆け込み増床」があり、平成2年には日本の病院数が1万96病院と1万病院を超えるピークを迎えた。

その後の平成時代においては、病床規制と度重なる医療法改正と診療報酬の抑制により、病院円熟期時代となった。病院数は減少し、平成31年1月現在では8,355病院と大幅に減少している。

さて、令和の時代、まずは平成時代の最後に国の医療政策として始まった地域医療構想、医師の働き方改革、そしてそれに準じて進められている医師の偏在対策、さらに医療機器の効率的活用等々が令和18年(2036年)をひとつの目標として一気に進められ、病院整理整頓期に突入すると思われる。この時代こそ、民間病院の真の力を示すべきではないだろうか。



※正面の3建物は全て当会グループの施設です。



次代を支える ハートフルグループの リハビリ力

特集1 リハビリテーション科

スペシャル座談会

社会医療法人 協和会

加納総合病院×北大阪病院×
淀川介護老人保健施設ハートフル



近年、ハートフルグループを支える柱の一つとなつているリハビリテーション部門。今後の超高齢化社会を見据えて、最先端のリハビリ環境を整えるとともに、デイケアや訪問リハビリなども取り入れて、医療と介護の連携強化を図っています。

今回は、加納総合病院、北大阪病院、淀川介護老人保健施設ハートフルの3施設で働くリハビリテーション科の皆さんにお集まりいただき、現在の取り組みについてお話いただきました。

スタッフ一丸となって 患者さんをサポート

最初に、ハートフルグループのリハビリテーションに対する考え方についてお聞かせください。

加納理事長：私たちハートフルグループでは、その名の通り「ハートフルコミュニケーション」を合言葉に救急から介護までを担う総合保健医療福祉グループを目指しています。基本的動作能力の回復を目的に、最先端の機器を使い、質の高いリハビリテーションプログラムで、患者さんの自立と社会復帰

へのお手伝いをしています。また、訪問看護や在宅介護をスタートさせ、デイサービス・デイケアやショートステイの施設を作り、回復と社会復帰を目指したりリハビリテーションの充実を図りました。急性期を過ぎた患者さんにはできるだけ早く自宅に戻っていただけるように、また介護を必要とする高齢の患者さんには、デイケアや訪問リハビリを活用して末長くサポートできるように、最適なリハビリを提供するよう日々取り組んでいます。

河合：ハートフルグループのリハビリテーション科はセラピスト2名からスタートしました。20数年で現在のセラピスト数は100名を超えます。地下の小さなリハビリ室からハートフルグループのリハビリテーション科の歴史が始まりました。医療保険の改定、介護保険のスタート、今なお現在進行形ではありますがその都度、臨機応変にスタイルを変更し、加納総合病院・北大阪病院・老人保健施設ハートフル、各施設がそれぞれの特色に応じ、情報を共有しながら

より良い形でリハビリテーションが提供できるように努めています。患者さんのライフスタイル・回復ステージに応じた、個別性、専門性のある質の高いリハビリテーションを提供でき、患者さんのニーズにできる限り応えることがハートフルグループのリハビリテーションの目指すところです。

各施設のリハビリテーション科の状況について教えてください。

河西：加納総合病院では、現在80人ほどのセラピストが働いています。チームを編成し、それぞれ担当を決めてリハビリテーションプログラムを提供しています。各チームのリーダーが自分のチームのスタッフを指導するようにしていますので、私はそのリーダーを信頼して任せ、働きやすい環境づくりに取り組むなどフォローしています。

金原：北大阪病院は計20名のセラピストが在籍しています。昨年の4月からは「訪問リハビリテーション」を開設し、これだけでなく急性期、回復期、生活期と一貫したリハビリテーションを提供できるようにしました。

当院では患者さんの日常の生活状況をできるだけ把握するため、セラピストが病棟で日常生活のサポートを行う時間を設けており、そこで得た情報はスタッフ間で共有するようにしています。又、実際のリハビリの時間にもそれらを活かしながら早い段階で「自宅復帰」「社会復帰」できるようスタッフが一丸となって業務に取り組んでいます。

古山：ハートフルでのリハビリは、病院での治療を終え症状が安定した高齢者が対象となり、在宅復帰した後の日常生活に必要な動作が一人で安全にできるかが非常に大事です。「立つ、座る、寝返る」の基本動作練習から、歩行動作や排泄動作などの練習に重点を置いてリハビリを行っています。特に認知症を患っている方の場合、危ないこ

とが理解できずに一人でやろうとする傾向があるので、動作の練習を繰り返し行ってしっかり覚えていただくようにリハビリをプログラミングしています。

慣れた場所とスタッフが 安心感につながる

元気に帰宅することを目指したりリハビリのサポートというスタンスはどの施設も同じですね。そういう点では、訪問リハビリやデイケアの役割も重要になってくると思いますが。

中岡：そうですね。医療スタッフの充実した加納総合病院や北大阪病院の場合、病院内でケアができるので、他の施設に比べると医療度の高い患者さんでも速やかに対応できる体制が整っていると思います。日頃から身体状況を確認し、異常が生じた場合でもいち早く発見し対応できることは、在宅生活を送る上で非常に心強いものになると思います。スタッフも細かな部分に気を配り、適切なケアができるように努めています。

回復期病棟を退院された方のフォローアップをさせていただ





くこともありますが、利用者の方からすると、全く知らないところに行くのではなく、入院中もリハビリしていた場所で引き続きリハビリができることは安心感にもつながっているようです。

奥野：同感です。訪問リハビリに関しても、患者さんから「加納総合病院で引き続き診てほしい」という声をたくさんいただいていた。私たちスタッフにとっても、急性期から回復期まで病院と一緒に頑張ってきた患者さんの経過を追いながらフォローしていきたいという思いがありました。

退院前からケアマネージャーなど地域スタッフの方々と連携

し、継ぎ目なく訪問リハビリが実施できる環境が整っていますので、患者さんからも「こういうサービスがあって助かる、安心する」という声をいただいています。

患者さんに寄り添い できることを全力で

皆さんが患者さんと接する際に、特に大切にしていることがありますか？

古山：ハートフルの場合は老健施設という場所柄、認知症を患っておられる方もたくさんいらっしゃいます。注意力や集中力が低下していることが多く、歩行練習をしていてもキョロキョロと周囲を気にしたり、練習に集中できないことが多々あります。そこで、私が大事にしているのは視線です。目と目を合わせて説明やリハビリをするようにしています。ベッドに寝たままだと、天井ばかりを見ることになるので視線が合います。あえて車椅子に座っていただいて、視線を合わせてリハビリをすることもあります。それと、環境づくりですね。なるべ



Rehabilitation



く回りに人がいない状態、できれば二人きりでリハビリを行うように配慮します。ボディタッチも積極的に行い、私の動きに意識を持っていくように心掛けています。

金原…患者さんとの信頼関係を大切にしています。信頼関係が築けないと私たちに身体を委ねてもらえず効果のあるリハビリは提供できないものと考えています。患者さんは自分の人生を賭けてリハビリに向き合われま

供し続けなければなりません。時にはプレッシャーで押しつぶされそうになることもあります。が、患者さんの機能が回復していく過程をそばで見届けられて、その成果と一緒に喜ぶことができるこの仕事は本当に、やりがいがあります。

奥野…私が大事にしていることは、施設と患者さんの橋渡し役になるということです。患者さんの中には若い方もお年寄りもおられ、誰もが何かしらの不安を抱えていらつしやいます。そんな環境のなか、一番近くで、長時間患者さんと一緒にいるのは、ドクターでも看護師でもなく、私たちリハビリ職のスタッフだと思っています。患者さんの不安や悩みを汲み取って、ドクターや看護師にしっかりと伝える。そんな役目を担っていると思っています。また、在宅医療の場合は退院後の生活を支援してくださるケアマネージャーなど情報共有し、患者さんが不自由なくご自宅へ戻られるように連携しています。患者さんの一番近くに存在として、患者さんに寄り添い、サポート

していきたいと考えています。

適切なケアのためには スキルアップも大切

今後の抱負や目標をお教えください。

中岡…私たちが目指すものは、地域の方に認めてもらえる、どこまでも小回りの利く病院や施設です。高齢の方は出かけるのが億劫になり、社会と触れ合う機会がどんどん減っていきま

ので、デイケアは数少ない社交の場となります。地域スタッフの方々に「加納総合病院にデイケアで行くと、いろんな人とお話ができるよ。楽しいよ」と紹介していただける環境をつくって、いい関係づくりができればと考えています。

河西…例えば、もし自分の家族が入院した時に「この人にだったら安心して任せられる」と思えるセラピストかどうか。日々医療が進歩する中で新しいエビデンスも出てきますし、常にアンテナを張りながら自分自身の成長にも注力し、患者さんに貢献できるセラピストであり続けたいと思っています。



河合…日々医療が進歩する中、常にプロとしての意識を持ち自己研鑽に励む、新しいエビデンスなどにしっかりと対応できるように専門性を高めることによつて、患者さん一人ひとりに合わせたオーダーメイドリハビリテーションを提供し続けたいと思います。

今後は病気やケガをしてからのフォローだけではなく、地域医療との連携も図りながら、予防的な観点にも立ち高齢者が地域でいきいきと暮らせるように取り組んでいきたいと思っています。

加納理事長…リハビリテーション科は加納総合病院の骨格にもなる大切な部門です。そして、セラピストは患者さんと接する時間が最も長いスタッフです。私たちにとって一番大事なのは「患者さん中心の医療と介護の実践」ということです。患者さんが安心して楽しくリハビリが受けられるように、これからも努力して、病院もグループもリハビリの発展を中心に考えています。結果的に地域貢献につながると思っています。

これからは100歳時代を迎えるといわれています。リハビリの役割はますます重要になっていくでしょう。技術レベルを高めて、良質なリハビリを提供していきたいと思っています。

皆さん、たくさんの良いお話をありがとうございました。



座談会メンバー

社会医療法人 協和会 加納繁照 理事長

協和会 リハビリテーション科 統括科長 河合あづさ さん

加納総合病院 リハビリテーション科 科長 河西謙吾 さん

加納総合病院 訪問リハビリテーション 主任 奥野泰介 さん

加納総合病院 デイケアセンター 主任 中岡孝太 さん

北大阪病院 リハビリテーション科 主任 金原高志 さん

淀川介護老人保健施設ハートフル 副主任 古山明宏 さん

第2回加納総合病院・北大阪病院 地域医療連携の会



加納繁照理事長より開会のご挨拶



会場風景



坂田泰史先生の特別講演



懇親会

2019年(平成31年)3月9日(土)大阪新阪急ホテル(大阪市北区梅田)において、第2回地域医療連携の会を昨年引き続き開催いたしました。今回は加納総合病院と北大阪病院合同開催として、北区、都島区、淀川区でご開催されている先生方約35名の参加をいただきました。

開会のご挨拶では、加納繁照理事長より先生方とともに地域医療を支えていく熱い思いと、当法人の歩みから今後の取り組みについての話があり、次に、西川事務長より具体的な登録医制度の運営説明と地域連携室の紹介がありました。また、当院の医療への理解を深めるために、脳神経外科、整形外科、消化器内科の医師より具体的な症例を交えながら、各診療科の特色など説明のあと、特別講演として、大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学教授坂田泰史先生をお招きし、「高齢者心不全治療のピットフォール」と題して、最前線で治療されている先生方の立場になって、診断の

見分け方や、症状・所見より専門病院へ紹介するときの具体的なタイミングを話され、また、現在、大学病院で研究されている心不全治療のIT化など、興味深いテーマでわかりやすくご講演をいただきました。

その後、2部として懇親会を開催し、大淀医師会長 樋口洋子先生より挨拶をいただき、会食しながら、地域の先生方と当院の医師、地域連携室スタッフとの名刺交換、情報交換など行われ、盛況のうちに終了しました。今回、先生方より多くの励ましやご意見を賜り、我々スタッフは、今後一層の地域医療に貢献していく決意を新たにいたしました。

登録医制度とは：

地域の先生方より紹介された患者さんを、入院医療機関の医師と共同で診察することが出来ます。患者さんにとっては、通院から入院、退院までの一貫した診療を行い、退院後は引き続き登録医の先生が患者さんの病状を診ることで、安心して最善の治療を受けることができます。

社会医療法人
協和会
ニュース

KYOWAKAI NEWS



協和会すべての建物の耐震工事が完了

社会医療法人

協和会ニュース

KYOWAKAI NEWS

平成30年7月から着工した加納総合病院の耐震改修工事が完了しました。平成29年度には北大阪病院の耐震改修工事が実施され、協和会すべての建物の耐震工事が完了することになります。

平成25年に施行された耐震改修促進法の改正により、昭和56年以前の建築物に対して耐震診断を義務化されてから、耐震診断・耐震設計・耐震工事と5年にわたる事業でしたが、無事に完了したことにより、震度6から7の地震にも耐えうる建物になりました。

加納総合病院は、併せて行ったリニューアル工事で、外壁の西館との統一化、療養病棟の内装改修、救急外来の一新、健康管理センターの改装などを実施したことにより旧館が見違えるほど美しくなりました。

工事期間中は、患者さん、職員の皆さんには大変なご不便とご迷惑をおかけいたしました。皆さんの協力により事業が完了いたしました。今回の事業に関わった皆さんに感謝するとともに新たに生まれ変わった病院施設を今後ともよりしく願っています。



広くなった第2救急室



統一化された外観(北面)



統一化された外観(東面)



明るくなった療養病棟



落ち着いた雰囲気の人間ドックサロン



耐震壁により強固になった建物



鯖をとり入れて健康になろう



④ 筍ご飯

・たけのこ(水煮).....	100g
・せせぎし.....	60g
・乾燥椎茸.....	3枚
・人参.....	1/2
・油揚げ.....	1枚
・薄口醤油.....	大匙1
・酒.....	大匙2
・砂糖.....	大匙1
・かつおだし.....	小匙半分
・精白米.....	2合

② レタスと海老のサラダ

・レタス.....	25g
・玉ねぎ.....	30g
・むぎき海老.....	25g
・ダイスカットチーズ.....	10g
・レモンドレッシング.....	10g

③ お味噌汁

・しめじ.....	15g
・えのき.....	20g
・白ネギ.....	10g
・厚揚げ.....	15g
・味噌.....	8g
・かつおだし.....	1g
・水.....	180ml

① 鯖の塩焼き・煮しめ

＜鯖の塩焼き＞	
・鯖.....	70g
・レモン.....	15g
・塩.....	ひとつまみ
＜煮しめ＞	
・椎茸.....	20g
・人参.....	15g
・ふき.....	40g
・かつおだし.....	小匙半分
・薄口醤油.....	大匙半分
・酒.....	大匙半分

1人前の栄養価 カロリー:775kcal 糖質:98g 蛋白質:35g 脂質:27g 塩分:2.6g

作り方

① 鯖の塩焼き・煮しめ

鯖は臭み取りのため、酒をふってからしばらく置きます。キッチンペーパーで水気をよくふき取ってから塩をまぶして焼きます。煮しめは、食材が被る程度の沸騰した湯に、調味料と具材を入れて火が通るまで煮ます。

② レタスと海老のサラダ

レタスは、適度な大きさにちぎりと水洗いして水気を切ります。玉ねぎはスライスして、水に10分ほどさらして辛みを取り除きます。あとはドレッシングであえて完成です。

③ お味噌汁

具材はそれぞれ適当な大きさに切り、沸騰した湯の中に入れて火が通ったら、かつおだしと味噌をいれます。

④ 筍ご飯

せせりはぶつ切り、たけのこ、油揚げは短冊切り、椎茸、人参は千切りにします。洗米が終わった炊飯器に調味料をすべて入れて、2合目まで水を入れかき混ぜます。具を投入して炊飯します。

【鯖の効果】

血液をサラサラ、血管を柔らかくするEPA(エイコサペンタエン酸)、脳を活性化させるDHA(ドコサヘキサエン酸)、カルシウムの吸収をサポートするビタミンDが豊富に含まれています。

【筍の効果】

カリウムが多く含まれており、余分な塩分の排泄をして、高血圧、浮腫みに効果的です。

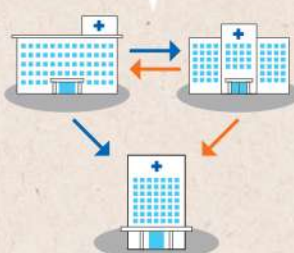
加納総合病院 栄養科 管理栄養士 友田彩子

医療安全管理室 No.6

2018年度より、医療安全地域連携という制度が始まりました。

病院どうしが、互いに医療安全の取り組みについて評価をします。悪いところは改善する工夫を示し、良いところは取り入れることによって、みんなで医療安全の質を高めることを目標としています。当院は、桜橋渡辺病院と北大阪病院とチームを組みました。2018年11月には、当院が桜橋渡辺病院の評価を、1月は桜橋渡辺病院と当院が北大阪病院の評価を行いました。チェック表で評価をするのですが、教えられることがいっぱいです。そして、2月14日、当院が桜橋渡辺病院に評価していただきました。医療安全委員会がもっと活発に運用されるよう、インシデントレポートをもっと多く提出していただくよう、医療安全のヒントをたくさんいただきました。この助言をもとに、2019年度も患者さんが安心して療養生活が送れるよう取り組んでまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

医療安全対策の評価



第9回ハートフル学会開催

社会医療法人
協和会ニクス

KYOWAKAI NEWS

平成31年2月16日(土)に大阪府病院年金会館にて第9回ハートフル学会を開催しました。

各部署から地域に密着した医療・介護を担うために日々行っていることについて5題の発表後、加納繁照理事長より「ハートフルグループの過去・現在・未来」と題して、地域におけるハートフルグループ各施設、各個人の担うべき役割や、将来のビジョンについて講演を行いました。特別講演には、宝塚市立病院緩和ケア病棟チャブレン・カウセンセラ・沼野尚美先生をお迎えし、「共に支え、共に生きる」をテーマに、患者さん・利用者さんにとって「職員同士の仲が良いかどうか」がいかに重要なことであるかについての講演をいただきました。加納繁照理事長の講演でも、法人名である協和の由来が「和を以て尊しとなす」であることの説明があったことから、職員は「和」や「協調」について改めて考え直す絶好の機会となりました。ハートフルグループ職員は、地域の皆さんの信頼を得られる様に日々自己研鑽を行い、年1回の学会をその発表の機会としています。



沼野尚美先生

特別養護老人ホーム／ハートフルふしお

令和元年6月1日新設オープン
地域密着型特養
ハートフルふしお紅葉館

特別養護老人ホーム
ハートフルふしおの併設型
(2階9床 3階9床)として
新築オープン



ハートフルふしお 紅葉館宣言

- 一、人と人のハートを大切にするハートフル。
心をこめて、心を伝えましょう。
- 二、3's with Smile
Speedy(早く)、Soft(やさしく)、
Safety(安全に)そして、笑顔添えて。



地域密着型特養ハートフルふしお「紅葉館」が、来る令和元年6月1日にオープンいたします。
池田市民の皆様向け、地域密着型の特別養護老人ホームとして、ただ今、入居者さんを募集中です。プライバシーに配慮した、個室・個浴(個別浴室)を中心とした設計になっております。
一方で、コミュニケーションの場としての談話室は、ゆったり広々としたつくりで、適度な距離感を保ちながら、日常の生活を送ることができるよう、配慮されています。
施設は山に囲まれ、窓からの眺めは四季折々の景色が楽しめます。気候の良い時は、心地よい自然にいつでも触れることができます。
風光明媚な環境で、快適な日常生活を送ることができるよう「紅葉館」にどうぞご期待ください。

TEL/072-754-2901

社会福祉法人 大協会

〒563-0011 大阪府池田市伏尾町12-1

FAX/072-754-1326

<http://www.daikyokai.or.jp/>



大協会
便り

社会福祉法人 大協会の
事業紹介



循環器内科 / 消化器内科 /
内視鏡内科 / 糖尿病内科 /
呼吸器内科 / 外科

医療法人
朋詠会

たむらクリニック



副院長／田村 公佑
日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本肝臓学会専門医



院長／田村 謙二
大阪府大淀医師会会員・理事
大阪大学医学博士
日本循環器学会会員
大阪府臨床内科医会推薦医
身体障害者福祉法による指定医
(心臓疾患)

連携 医療機関 紹介

加納総合病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最前の治療環境の実現を目指しています。
このコーナーでは、当院の登録医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

皆さんのすこやかな毎日のために

大阪大学第一外科、紀南病院、市立豊中病院、大阪警察病院、大手前病院に在職中は、心臓血管外科の研究と実地臨床に従事し、手術の前後には合併症としての高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、胃腸病、膠原病などの治療を経験してまいりました。その経験を活かし、地域の皆さんのすこやかな毎日を支えたいという想いから、大手前病院心臓血管外科部長を辞し、循環器内科・糖尿病内科・呼吸器内科・外科を標榜する医院を平成9年、生まれ育った天神橋8丁目の地に開院し、以来、ひたすら地域医療の実践に努めて参りました。患者さんが満足し安心できるよう「丁寧にわかりやすい説明」「正確な診察、診療」をモットーに、親切で心のこもった医療サービスを心がけています。



腸、肝臓、すい臓、胆嚢など)についてもお気軽にご相談いただけるようになりました。地域からがんをなくしたいという想いから、内視鏡専門医が見逃さない検査も行っています。胃カメラ・大腸カメラ特設サイトを立ち上げておりますので、是非ご覧ください。

たむらクリニック



アクセス

- ・大阪メトロ堺筋線・谷町線「天神橋筋六丁目」6番出口北へ徒歩7分
 - ・梅田からバス1本
(37系統:長柄橋南詰 or 34系統:長柄西からすぐ)
- 当院前に2台分の駐車場有り、ご自由にお使いください。



▼胃カメラ・大腸カメラ特設サイト



<https://tamura-naishikyo-clinic.jp/>

〒531-0041

大阪府大阪市北区天神橋8-9-10

TEL / 06-6242-0140

URL / <http://www.tamura-cl.net/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×	×

休診日 木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



各科診療医一覧表

加納総合病院

科	診療時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	1診 9:00~12:00	院長	久保田	酒井	原	中間
		2診 12:00~12:45	酒井	久保田	酒井	原	中間
		3診 9:00~12:45	久保田	森脇	原	郡山	滋野
	午後	9:00~12:45	中川(聖) ※糖尿	岸野	高嶋・笹川 ※糖尿	中川(聖) ※糖尿	湯口・岩崎
		14:00~16:45	木積	徳山 ※糖尿	谷・中間	滋野・中川(聖) ※糖尿	久保田・高田
	夜診	18:00~19:45	谷	中間・森脇	原・吉岡	酒井・郡山	高田・高嶋
外科	午前	9:00~12:45	田中	OP	矢野	田中	矢野
	午後	14:00~16:45	向井	OP	矢野	向井	矢野
	夜診	18:00~19:45	向井・田中				
整形外科	午前	9:00~12:00	和田	森本	岡吉	羽山	和田
	2診	9:00~12:00	納田	納田	下(予約)	下(予約)	松山
	夜診	18:00~19:45	松山・和田	和田・松山	納田・星山	羽山・糟谷	下
脳神経外科	午前	9:30~12:00	中澤	OP	黒田	安田	中澤
	2診	9:30~12:00	麓(予約)			米田	麓(予約)
	夜診	18:00~19:45	谷浦	谷浦	谷浦	谷	谷
循環器内科	午前	9:00~12:00	谷浦	谷浦	谷浦	谷	谷
	午後	14:00~16:30				ハース・カワハラ	
	夜診	18:00~19:45	谷				

科	診療時間	月	火	水	木	金	土
神経内科	午前	9:00~12:00					望月
	午後	14:00~16:45				権	長野
	夜診	18:00~19:45			小河・池中		
形成外科	午前	9:00~12:00	奥野	宇根	奥野	宇根・奥野 (交互) (予約)	宇根
	午後	14:00~16:00	宇根	奥野	奥野	OP	宇根
眼科	午前	9:00~11:00	中川(和)	中川(和)	中川(和)	盛	中川(和)
	午後	14:00~15:00	中川(和)	検査	OP	検査	検査
耳鼻咽喉科	午前	10:00~12:45	津田	津田		津田	津田
	午後	14:00~15:45	津田	津田		津田	津田
泌尿器科	午前	9:00~11:30	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元
	午後				検査		
皮膚科	午前	9:00~12:00		草壁			尼木
	午後	13:00~16:00	谷口				
婦人科	午前	9:00~11:30	堀江		堀江		堀江
小児科	午前	9:00~11:45		中倉		中倉	井上(彰)

※詳しくはホームページを参照ください。

平成31年4月1日時点

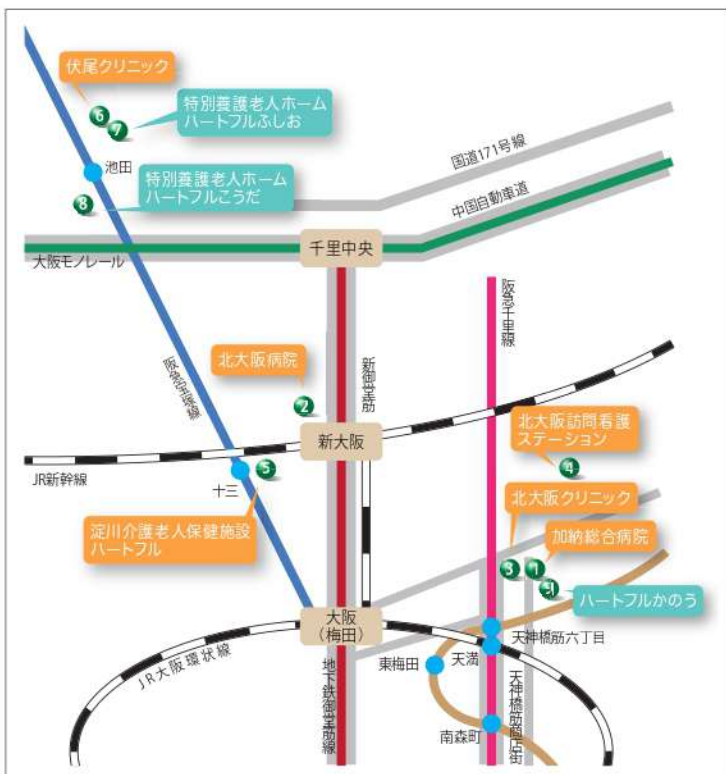
北大阪病院

科	診療時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	9:00~13:00	中川	高嶋	扇谷	中川	谷浦
	午後	14:00~17:00	田中	中川	扇谷	大川	石井(秀)
	夜診	18:00~20:00	足立	藤尾	霜野	大川	中川
外科	午前	9:00~13:00	藤尾	藤尾	藤尾	藤尾	井口
	午後	14:00~17:00					
	夜診	18:00~20:00		藤尾			
整形外科	午前	9:00~13:00	日黒	岡村	日黒	安田(直)	目黒
	2診	9:00~13:00	平井		小谷	佐柳	高尾
	午後	14:00~17:00	下		下	下	下

科	診療時間	月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	9:00~13:00	安田(守)	安田(守)	安田(守)		佐藤
	午後	14:00~17:00	※急患のみ受付	※急患のみ受付	※急患のみ受付		※急患のみ受付
皮膚科	午後	15:30~16:30					高田
循環器科	午前	9:00~13:00	岡田		扇谷		谷浦
	午後	14:00~17:00	田中		扇谷		加藤
泌尿器科	午後	14:00~17:00			澤村		
リハビリ	午前	9:00~13:00	○	○	○	○	○
	夜診	18:00~20:00	○		○		○

※詳しくはホームページを参照ください。

平成31年4月1日時点



社会医療法人 協和会

① 加納総合病院

〒531-0041 大阪市北区天神橋7-5-15 TEL.06-6351-5381(代)

② 北大阪病院

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-7-17 TEL.06-6395-1601(代)

③ 北大阪クリニック

〒531-0041 大阪市北区天神橋7-6-21 TEL.06-6351-2228(代)

④ 北大阪訪問看護ステーション

〒531-0063 大阪市北区長柄東3-3-10 フローラルハイツ協和2階
TEL.06-6357-7893

⑤ 淀川介護老人保健施設 ハートフル

〒532-0023 大阪市淀川区十三東5-3-29 TEL.06-6302-8686

⑥ 伏尾クリニック

〒563-0011 大阪府池田市伏尾町12-2 TEL.072-754-2838

社会福祉法人 大協会

⑦ 特別養護老人ホーム ハートフルふしお

〒563-0011 大阪府池田市伏尾町12-1 TEL.072-754-2901(代)

⑧ 特別養護老人ホーム ハートフルこうだ

〒563-0043 大阪府池田市神田2-6-7 TEL.072-750-0810(代)

⑨ ハートフルかのう

〒531-0062 大阪市北区長柄中1-1-21 TEL.06-6354-1108(代)

編集後記

新元号を迎え、新しい顔ぶれが当院にフレッシュな風を運んでくれました。職員一同気持ちを新たに、これからも頑張っていきます。